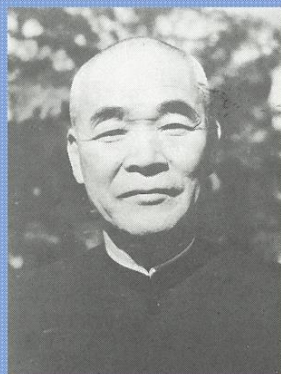


恵之助先生の作文指導から 『自分の気持ちを表現する＝自分を大切にすること』

7月21日に1学期の終業式を行いました。竹田小学校の校歌をこうして式の中でみんなで歌う機会も後数回となりますが、子どもたちがしっかりとした歌声を聞いて嬉しくなりました。



15歳で大阪に働きに出たが、うまくいかず。市島に帰ってきました。

はたらきながら勉強して、小学校の先生になりました。

福知山の小学校に努めていた時に大水害にあい、町や学校が大きな被害を受けました。

その時のことを「水害日記」に書き残しました。

私からは「芦田恵之助先生」のお話をしました。

顔写真をみせて「誰かわかる人」と尋ねると多くの子が「恵之助先生」と答えます。恵之助先生の3つの教え（礼を正す・時を守る・場をきれいに）は、今も学校のきまりとして、『ともに育ちましょう』の精神とともに脈々と受け継がれています。

今回は、左のプレゼンを通して、どうして恵之助先生が子どもたちの生活綴り方運動（作文教育）に熱心に取り組まれたのか。子どもたちや指導する先生方に作文教育を通して何を大切にしようと言われていたのか、今の子どもたちにできるだけ



じぶんのかきたいことを
じゅうにかく、さくぶんを
ぜんこくにひろめて、



こどもたちに

『じぶんをたいせつにするきもち』
をそだてよう

わかりやすくを意識して話をしました。

水害の様子を書きとめた恵之助先生は、「自分の思ったことを言葉にすることは大切なことだ」と身をもって体験し、子どもたちが作文を通して『自分を大切にすることの気持ち』を育んでくれることを願い、作文指導に取り組まれ、その想いに共感する方々とともに全国へと広がっていきました。

先日、文科省から ChatGPT に代表される生成 AI の小・中・高等学校における利用に関するガイドラインが発表されました。生成 AI を使いこなす力の育成は重要としながらも、読書感想文やコンクールやレポートなどの課題に対して、生成 AI による生成物を自分の成果物として応募・提出することは不適切、不正な行為にあたることなどが挙げられています。

今回の話の中でも、「AI を使って読書感想文が書ける」と話すると驚いている子がたくさんいました。技術の進展の中で、「読書感想文が書けた」という結果のみに着目すると、確かに便利な道具となることではしょうが、「AI 生成物をそのまま自分の作品」とするならば、その作品は、恵之助先生の言う「自分の気持ちを表現する＝自分を大切にすること」には、つながり得ないもの、つまりは値打ちのない作品となることではしょう。

夏休みになります。子どもたちには「自分を大切にし、よい夏休みに」と伝えました。2 学期の始業式 8 月 28 日には、元気な姿をみせてくれることを楽しみにしています。

[【通知】「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」の作成について \(mext.go.jp\)](https://mext.go.jp)